



2月14日 議会基本条例を制定することに賛成する委員(議会改革調査特別委員会)



# しもつけ Shimotsuke-City 市議会だより

第1回定例会	-----
議会基本条例を制定へ	..... P 2
平成24年度予算が可決	..... P 4
常任委員会審査報告	..... P 8
市政をただす 一般質問	..... P10
議会改革調査特別委員会	-----
議会基本条例策定小委員会を設置	..... P14

NO.24

平成24年5月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会広報特別委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail: [gikai@city.shimotsuke.lg.jp](mailto:gikai@city.shimotsuke.lg.jp)

平成24年第1回

# 下野市議会定例会

2月29日～3月22日(23日間)

平成25年  
9月までに

## 議会基本条例を制定へ

議員として選任されている委員の報酬を無報酬に

### 第1回定例会 会期日程

- 2月29日 本会議【開会】  
(議案の説明)
- 3月1日 本会議  
(議案の説明)
- 2・5日 本会議  
(一般質問)
- 6日 本会議  
(議案の質疑、  
委員会付託)
- 7・8日 教育福祉常任委員会  
(付託案件審査)
- 9・12日 経済建設常任委員会  
(付託案件審査)
- 13・14日 総務常任委員会  
(付託案件審査)
- 22日 本会議【閉会】  
(委員長報告、表決)

定例会開会日の2月29日、本会  
議において議会改革調査特別委員  
会の中間報告が、松本委員長より  
なされました。

平成24年第1回定例会は、2月29日から3月  
22日までの23日間の会期で開催されました。  
市長提案により人事同意案5件、報告2件、  
平成23年度補正予算案9件、平成24年度予算案  
11件、条例の制定・一部改正案16件、及びその  
他の議案4件が提出され、すべて可決されまし  
た。また、議員から条例改正案1件、及び陳情

採択による意見書案1件が提出され、すべて可  
決されました。  
ほかにも、議会改革調査特別委員会から中間  
報告がありました。  
なお、一般質問では7人の議員がそれぞれ市  
の対応や考えを問いただきました。

### 議会改革調査特別委員会中間報告(抜粋)

下野市議会改革調査  
特別委員会の第2回の  
中間報告を申し上げま  
す。

本委員会では、下野  
市議会の改革を進める  
ため、議長から諮問さ  
れた8項目について協  
議・検討を行うとして、  
既に3項目の結論を見  
出し平成23年第4回定  
例会本会議において、

中間報告を行ったとこ  
ろであります。引き  
続き、議会改革につい  
て協議・検討を行い、  
本年1月17日及び2月  
14日に開催した委員会  
において、新たに結論  
を見出しました。

まず、「審議会、委  
員会への委員選出方法  
と報酬のあり方につい  
て」、報酬については、  
議員として選任されて  
いる審議会等の委員は、  
議員活動の一環である  
ため、条例の改正を行  
い、監査委員を除き無  
報酬とすることとしま  
した。また、市外部団  
体の、農業公社理事及  
び社会福祉協議会理  
事・評議員も無報酬と  
するよう通知すること  
としました。なお、委

公平委員会委員



岩瀬 勇氏

教育委員会委員



三橋 明美氏

固定資産評価審査委員会委員



菅井 貞雄氏



飯島 陽子氏



高山 充氏

## 教育委員に三橋明美氏を選任 公平委員及び 固定資産評価審査委員を選任

教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、及び公平委員会委員の選任について、左記のとおり5人の委員の選任に同意しました。教育委員の任期は平成24年3月25日から

4年間、固定資産評価審査委員会委員の任期は平成24年4月1日から4年間、公平委員会委員の任期は平成24年4月1日から3年間となります。

## 議長からの諮問事項と委員会の検討結果

### ①傍聴者へ通告書（コピー）配布について

通告書の写しは配布せず従来どおり一覧表のみの配布とする。（報告済）

### ②本会議等録画放映について

費用が高額になることから、新庁舎建設にあわせて設置するよう議会として要望する。（報告済）

### ③行政視察の復命について

研修前に委員会において研修内容を検討し、研修後に執行部と協議を行う。また、報告書を委員長が作成し、本会議で委員長が報告する。（報告済）

### ④審議会、委員会への委員選出方法と報酬のあり方について

条例の改正を行い、議員として選任されている委員は監査委員を除き無報酬とする。

### ⑤市民からの意見聴取について

議会基本条例策定小委員会で検討する。

### ⑥市民への議会活動報告義務について

議会基本条例策定小委員会で検討する。

### ⑦議員定数と報酬について

検討中。

### ⑧議会基本条例について

平成25年9月までに制定するため、本委員会の中に「議会基本条例策定小委員会」を設置して検討する。



本会議で委員会の中間報告をする松本委員長

員選出方法では、国民健康保険運営協議会への委員選出は、総務常任委員会からだけではなく、各常任委員会から1名ずつ選出することにしました。

次に、「議会基本条例について」は、平成25年9月までに制定するため、本委員会の中に「議会基本条例策定小委員会」を設置して検討することとしました。

また、諮問事項の「市民からの意見聴取について」、「市民への議会活動報告義務について」も、議会基本条例を制定する中で検討すべき事項であるとして、「議会基本条例策定小委員会」で検討を行うこととしました。

引き続き、議会を活性化し、市民の負託にこたえられる議会となるよう、協議・検討を進めてまいります。

# 平成24年度予算が可決

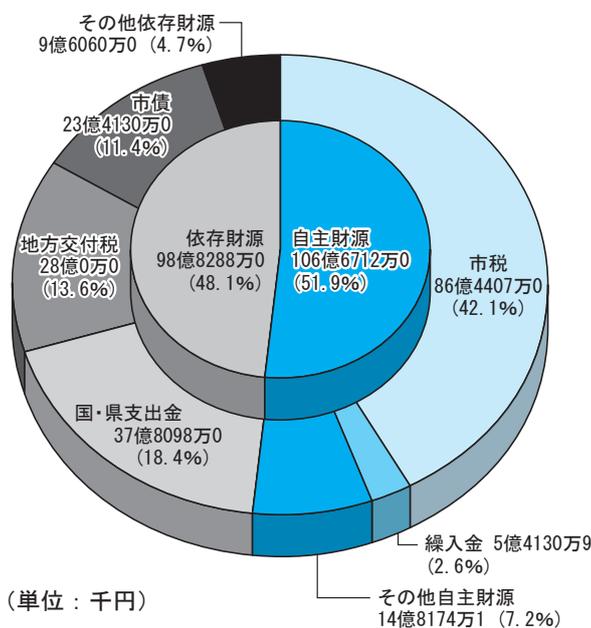
総合計画後期基本計画を効率的に実行する積極的な予算

■平成24年度各会計予算

(単位：千円・%)

会計名	予算額	前年度との比較		
		増減	比率	
一般会計	205億5000万0	3億8000万0	1.9	
特別会計	国民健康保険	54億4325万2	1億527万6	2.0
	後期高齢者医療	4億5548万0	6613万4	17.0
	介護保険(保険事業勘定)	30億5068万1	2億9628万1	10.8
	介護保険(介護サービス事業勘定)	374万5	39万0	11.6
	公共下水道事業	16億3812万2	△1827万7	△1.1
	農業集落排水事業	4億9493万2	4530万9	10.1
	下古山土地地区画整理事業	3285万3	△1308万5	△28.5
	石橋駅周辺土地地区画整理事業	3881万3	929万9	31.5
	仁良川地区土地地区画整理事業	5億2448万8	3803万0	7.8
企業会計	水道事業	13億9695万7	1億7593万2	14.4
総計		336億2932万3	10億8528万9	3.3

■平成24年度一般会計歳入予算内訳



(単位：千円)

平成24年度一般会計予算案、9特別会計予算案、及び水道事業会計予算案が、上表のとおりすべて全会一致で可決されました。

平成24年度は総合計画後期基本計画がスタートする重要な年度であるため、この計画の基盤策をより効果的に実施するため、重点的、戦略的に

## 社会福祉施設整備補助事業

2億420万円

高齢福祉の向上に資する目的で、地域において必要となる介護施設、地域介護拠点等の整備を支援します。民間業者が整備する地域密着型特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム、及び小規模多機能型居宅介護事業所に対して市が助成します。

## 庁舎建設事業

5億2623万4千円



下野市役所国分寺庁舎

平成22年5月25日に策定された「下野市庁舎建設基本構想」に基づき、平成28年3月までに、JR自治医大駅西側への庁舎建設を目的とします。24年度は基本設計を完了し、実施設計に着手、用地買収、

用地測量を行います。また、新庁舎へのアクセス道路の測量・設計もあわせて行います。

### 三王山地区公園整備事業

4207万4千円



ふれあい館の東側市有地を整備する

ふれあいプラザ構想に基づき、自然を生かした体験型の公園をふれあい館東側の市有地に整備するため、市民懇談会の開催や、事業実施に向けた測量、設計等を行います。

### 石橋小学校屋内運動場改修事業

1400万円



石橋小学校体育館

本年度で各小中学校校舎の耐震化がすべて終わることにより、石橋小学校体育館の改修工事を行うため、本年度は実施設計を行います。

### 陸上競技場整備事業

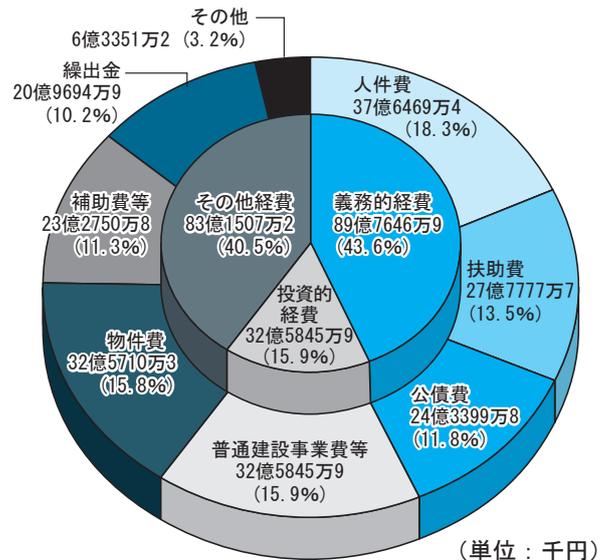
2085万円



400mトラックのある陸上競技場を整備する

陸上競技の振興のため、400mトラック等の公認の施設を整備します。本年度は、場所の選定調査、不動産鑑定、及び設計を行います。

### 平成24年度一般会計歳出予算性質別内訳



取り組みむべき施策を「しもつけ重点戦略」として位置づけ、後期基本計画の重点化を図りました。

この重点戦略実行のため、事業の選択と集中、事業評価による優先度により各部署が主体となった事業の取捨選択を行ったもので、本市の発展とさまざまな課題に迅速かつ的確に対応するための予算となりました。

その結果、一般会計当初予算規模は205億5000万円、対前年比3億8000万円、1.9%増の積極型予算となりました。

主な注目事業については、庁舎建設事業、社会福祉施設整備補助事業、三王山地区公園整備事業、石橋小学校屋内運動場改修事業、陸上競技場整備事業等が計上されました。

### ブランド認定推進事業

88万円

地元を代表する商品、特産品、製品、技術等を下野市ブランドとして認証し、その情報を広く発信することにより下野ブランドを確立します。本年度中に、第1回目の認定を目指し、推進本部の設置、認定協議会の設置、及び推進プランの作成を行います。

平成23年度  
補正予算

小学校校舎大規模改修等  
計画を前倒しして実施へ

平成23年度一般会計補正予算案、7特別会計補正予算案、及び水道事業会計補正予算案が提出され、すべて全会一致で可決されました。

■平成23年度各会計補正予算 (単位：千円)

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		5億3434万9	221億6364万3
特別会計	国民健康保険	△2101万3	54億9373万5
	後期高齢者医療	761万9	4億404万5
	介護保険(保険事業勘定)	△6550万7	27億3076万8
	公共下水道事業	△5338万1	16億4165万1
	農業集落排水事業	△600万0	4億6194万8
	石橋駅周辺土地区画整理事業	△813万8	2361万8
	仁良川地区土地区画整理事業	△3987万1	4億8605万9
企業会計	水道事業	資本的収入	△1120万0
		資本的支出	△1000万0
			5680万0
			4億9163万1



薬師寺小学校校舎

増しによる増額、子ども手当つなぎ法が改正されたことによる事業費の減額、国の補正予算による小学校校舎の大規模改修及び給食室改修等が計上されました。その結果、補正額は5億3434万9千円の追加となりました。

■一般会計補正予算

主な補正内容は、子ども手当つなぎ法改正に伴う減額、合併特例債の増額、国の補正予算により平成23年度で前倒しして学校施設環境改善交付金の追加による増額等が計上されました。また、歳出については、将来の公債費返還の財源としてたくわえるため減債基金の積み

■国民健康保険特別会計補正予算

保険税収及び一般会計からの繰入金の減額に伴う補正を計上した結果、補正額は2101万3千円の減額となりました。

■後期高齢者医療特別会計補正予算

事業費の精査に伴う補正を計上した結果、補正額は761万9千円の追加となりました。

■介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算

事業費の精査に伴う補正を計上した結果、補正額は6550万7千円の減額となりました。

■公共下水道事業特別会計補正予算

事業費の精査に伴う補正を計上した結果、補正額は5338万1千円の減額となりました。

■農業集落排水事業特別会計補正予算

事業費の精査に伴う補正を計上した結果、補正額は600万円の減額となりました。

■宇都宮都市計画事業下古山土地区画整理事業特別会計補正予算

事業費の精査に伴う補正を計上した結果、補正額は813万8千円の減額となりました。

■小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算

保留地処分費の増額、建設費充当の繰入金の減額、及び事業費の精査に伴う補正を計上した結果、補正額は3987万1千円の減額となりました。

■水道事業会計補正予算

資本的収入において配水管布設負担金の減額補正を計上した結果、補正額は1120万円の減額となりました。また、資本的支出において、排水管の布設工事が年度内の着工を見込まず減額したため、補正額は1000万円の減額となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は4億3483万1千円となりました。

■平成24年第1回定例会において審査された請願・陳情

件名	請願等の趣旨	紹介議員	審査結果
市民会館(多目的大ホール付)の早期建設を求める請願	作品創造発展の場、舞台芸術活動の場、交流・出会い、憩いの場、そして下野市文化の情報発信の拠点となる市民会館(多目的大ホール付)の早期建設を求める。	岩永博美 野田善一	継続審査
TPP(環太平洋連携協定)交渉参加反対に関する陳情	国のTPP交渉参加阻止に向けて、政府関係機関に意見書の提出を求める。	なし	継続審査
原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める陳情	原子力発電の推進を前提とするエネルギー施策の見直しに向けて、政府関係機関に意見書の提出を求める。	なし	採択
公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	公的年金の特例水準解消2.5%削減を行わないよう、政府関係機関に意見書の提出を求める。	なし	不採択



### 下野市東日本大震災復興推進基金条例の制定

東日本大震災からの復興を図るための事業の財源に充てるため、基金を設置するよう条例を制定しました。

(全会一致)

### 道の駅しもつけ基金条例の制定

道の駅しもつけの整備及び地域交流事業に充てるため、基金を設置するよう条例を制定しました。

(全会一致)

### 下野市暴力団排除条例の制定

暴力団は市民生活や社会活動、青少年の健全育成に悪影響を及ぼしており、これらの不安要因を排除して安全

で平穏な市民生活を実現するため条例を制定しました。

(全会一致)

### 下野市環境基本条例の制定

市の環境基本計画の策定に先立ち、市の環境保全に対する基本理念や基本姿勢を明確にするため条例を制定しました。

(全会一致)

### 下野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関し、新たに設置される審議会等委員報酬を追加し、あわせて支給根拠を明文化するため、条例の一部を改正しました。

また、市議会議員が議員として委員となっている各委員会の報酬について、監査委員を

除き無報酬とすることとしました。

(全会一致)

### 下野市墓地条例の一部改正

平成24年度から一部供用開始される市営墓地(すがた川霊園墓地)の名称及び位置、使用料等を定め、あわせて墓地共用施設管理手数料を定めるため、条例の一部を改正しました。

(全会一致)

### 下野市介護保険条例の一部改正

下野市観光施設条例により設置する駐車場の使用料を定めるため、

### 下野市観光施設条例の一部改正

平成24年度から平成26年度までの介護保険料を改定するため、基準月額保険料の見直し等について、条例の一部を改正しました。保険料は所得に応じて8段階となり、年額2万7千円から8万6400円(42000円から1万8千円の増額)となります。

(全会一致)

### 下野市立史跡公園等展示施設条例の一部改正

東日本大震災により被災した別処山民俗資料館の用途廃止に伴い、条例の一部を改正しました。

(全会一致)

条例の一部を改正しました。

(全会一致)

### 団体営土地改良事業の施行

団体営土地改良事業を施行する計画の概要について、土地改良法の規定により議決しました。

(全会一致)

### 市の境界変更に伴う財産の処分に関する協議

下野市と真岡市の境界変更に伴う財産処分を協議することについて、地方自治法の規定により議決しました。

(全会一致)

る市の面積の変更はありません。

(全会一致)

### 市道路線の認定及び廃止

道路法の規定に基づき市道路線の認定及び廃止について議決しました。

(全会一致)

### 市の境界変更

下野市と真岡市の境界変更を栃木県知事に申請することについて、地方自治法の規定により議決しました。なお、境界変更によ

### 専決処分の報告

地方自治法の規定により、道路破損等による車両の損害賠償について、専決処分したことの報告を受けました。賠償金額は2件で9180円でした。

### 次のものは、上位法の改正等に伴い条例の一部を改正しました。

(すべて全会一致)

- 下野市税条例の一部改正
- 下野市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の一部改正
- 下野市道路占用料徴収条例の一部改正
- 下野市営住宅管理条例の一部改正
- 下野市民館設置条例の一部改正
- 下野市立図書館設置条例の一部改正
- 下野市スポーツ振興審議会に関する条例の一部改正

# 常任委員会 審査報告

各常任委員会の審査状況を報告します

## 教育福祉常任委員会

学校適正化配置について、統廃合、通学区域変更に該当する保護者や地域の方は大きな不安を持っている。素案ができ次第、地域や学校関係者に説明に入るとのことだが、慎重かつ丁寧に説明を行い、理解をいただきながら計画策定をするよう努力されたい。

また、ふれあい館、きらら館、ゆうゆう館については、行革の象徴であり、合併当初から機能集約に向けて議論を重ね、それぞれの方向性を示されたが、さらにその機能特化充実に向けて早急に進め、目的に沿った効率のよい運営を望む。

### 教育福祉

**重度心身障がい者医療費の現物支給に対する市の考えは**

**問**

重度心身障がい者医療費補助金について、県内自治体では「償還払い」から「現物支給」へ移行する流れが出始めているが、市の考えを伺う。また実施すると、事業に対する県補助金が減額されるリスクがあるので、導入しても補助率が維持できるよう、県への

**答**

要望をお願いしたい。現物支給を試算すると、医療費と手数料合わせて約1700万円の市負担増になるため、現時点での導入はかなり厳しい。補助率維持の要望を行っており、県内全市町で要望すれば、県の考えも変わってくるのではないかと。

### 経済建設

**東京スカイツリーに開設するとちまるシヨップへの対応は**

5月22日にオープンする東京スカイツリー



**問**

本年5月22日にオープン予定の

東京スカイツリーの4階に、栃木県のとちまるシヨップが開設するが、本市からの出展数と市としての対応について伺う。

**答**

県内各市町からの申し込みを受け、本市内の2店舗から出店の申し出があった。市としては天平の花まつり等のPRをしていきたいと申し込みをしている。

### 総務

#### わがまち協働推進事業補助金の内容を伺う



平成24年はかんぴょう伝来300周年を迎える

**問**

平成24年度一般会計予算に計上されているわがまち協働推進事業補助金の内容について伺う。

**答**

3年間の補助事業であり、24年度はかんぴょう街道への負担金、壬生町と連携してのかんぴょうに関するDVD作成、及び広域文化財マップの作成である。



# 常任委員会付帯意見

定例会最終日に各常任委員会委員長から報告された委員会付帯意見を掲載します。

## 総務常任委員会

職員の人事評価について、数年前から試行的に実施されている当評価は、職員の資質向上を図る上でも重要だと判断するので、できるだけ速やかに評価システムを確定し、公表されたい。

指定管理者制度に伴う指定管理は、複数年（3年または5年）での指定となっているため、財務会計上、債務負担行為をとるべきであるので、調査研究して改善されたい。

## 経済建設常任委員会

区域指定の基礎調査業務について、調整区域においても開発可能な地区がある。地域コミュニティの崩壊を防ぐ観点からも、条件が整った地域の開発を視座におき、人口増加を図られたい。

三王山地区公園整備事業については、過度に手を加えることなく、自然林や現状の地形、生態系をき損することないよう整備を望む。

北河原堰改修工事事業費の区分については、国庫補助事業対象における市及び地元負担金が定まっているが、下野市土地改良事業補助金交付要綱に「市が適当と認める場合」との条文があることから、今後同種の事業については、統一した見解で対応されたい。

### 福祉 教育

#### 新たに設置する施設の概要は



国分寺駅西児童館

#### 答

国分寺小の児童保育は国分寺駅西児童館で実施しているが、児童数が多くなっているため、国分寺小敷地内に新たに児童保育室を建設するための設計費を計上した。また、陸上競技場整備については、候補地を大松山運動公園、国分寺運動公園、別処山運動公園のいずれかを拡張することで考えている。

#### 問

平成24年度一般会計予算に計上されている児童保育室整備事業と陸上競技場整備事業の内容について伺う。

### 総務

#### 国有提供施設等所在市町村助成交付金の対象は

#### 問

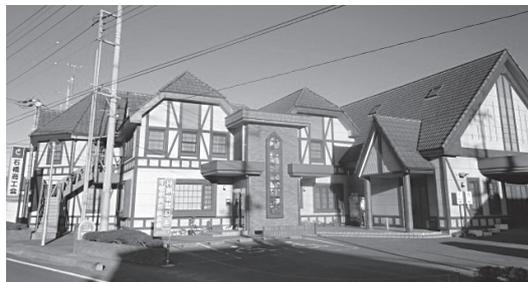
平成23年度一般会計補正予算に計上されている国有提供施設等所在市町村助成交付金の対象を伺う。

#### 答

自衛隊駐屯基地に対しての交付金であり、総面積83ヘクタールのうち石橋地区26ヘクタールが対象となっている。

### 経済建設

#### 商工会の合併に向けて指導力を発揮せよ



石橋商工会館とアイリスホール

#### 問

石橋商工会だけが合併できなかった理由は何か。合併しないならば補助金の大幅なカットも含め、合併に向けて指導力を発揮してもらいたい。

#### 答

今まで各商工会で実施してきた事業運営の調整が難しかったため合併にいたらなかったが、今後も努力していく。

#### 問

JR自治医大駅西口は新庁舎へ

### 経済建設

#### JR自治医大駅西口駅前の整備計画は



JR自治医大駅西口

#### 答

自治医大駅西口のエレベーターを設置を平成24・25年度の2カ年で整備し、平成27年度の新庁舎供用開始までに国道4号線までのバリアフリー化を進める。

# 市政をたたく

## 一般質問

### 発言者席

第1回定例会では、7人の議員が市政に対し、一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。なお、紙面の都合により、掲載は1人につき1項目とし、ほかの質問事項は項目のみ掲載しております。

## 塚原良子 議員

1. 「学校適正配置」小学校2校の統廃合について
2. 特別支援教育の推進について
3. 障がい児・者への24年度施策は



**問** 「学校適正配置」への今後の対応について

**答** 「学校適正配置基本計画」を策定する

**問** 学校適正配置検討委員会の答申では

「地域住民・学校関係者に十分な理解と協力を頂き、速やかにかつ円滑に具現化を希望する」とある。何をいつごろまでにとりまとめるのか。

**答** 教育長 今後は答申を踏まえ具体的な計画「下野市学校適正配置基本計画」の策定に

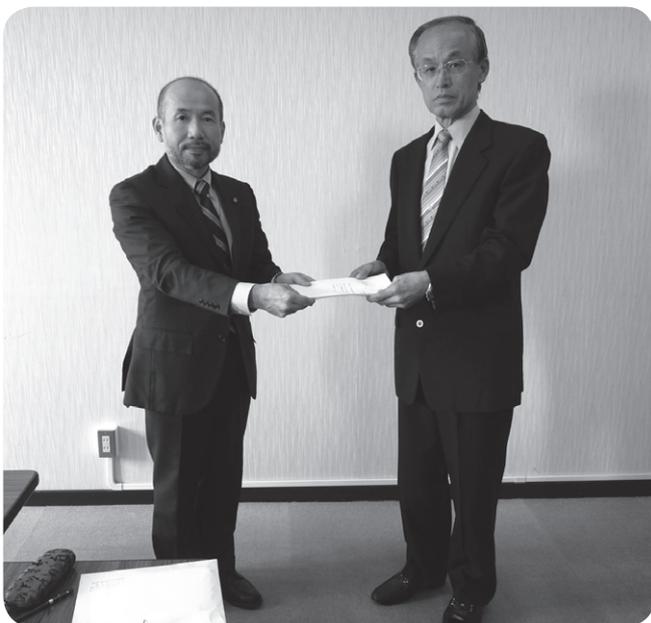
**問** 国分寺西小と国分寺小の統合。答申

では「広い校地を近接地を含めた適当な場所に確保し、統合校として新設することが望ましい。当面国分寺小学校舎を使用し、

向け、教育委員会、市長部局で策定委員会を立ち上げる。方針、時期等は、保護者、学校関係者、地域の意見を伺い策定する。

**答** その後適地に建替え」とある。校舎新設の時期は。

教育長 校舎の耐用状況、児童数の推移、市の財政状況を勘案し、研究・検討に取り組んでいく。基本計画に何を盛り込むのか、時期まで明記できるかは、策定委員会で議論し方向性を決める。



平成23年10月20日、教育委員会委員長あて最終答申があった



## 小谷野 晴夫 議員

1. 住宅用火災警報器設置の補助について
2. 文部科学省の平成23年度第3次補正予算の活用について

**問** 春の火災予防運動が実施されている。新築住宅では、平成18年6月から、既存住宅においては21年6月から、消防法及び火災予防条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられているが、本市における設置状況と設置に対する補助について伺う。

**問** 本市の住宅用火災警報器設置状況は

**答** 平成23年5月現在で61・1%である

**問** 春の火災予防運動が実施されている。新築住宅では、平成18年6月から、既存住宅においては21年6月から、消防法及び火災予防条例で住宅用火災警報器の設置が義務付けられているが、本市における設置状況と設置に対する補助について伺う。

**答** 市長 石橋地区消防組合の調査で61・1%となっている。補助については在宅高齢者等日常生活用具給付事業で、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯で所得税非課税の方に設置費用の9割を補助する制度になっている。

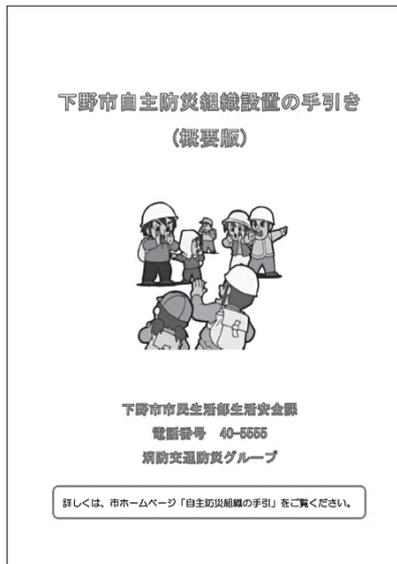
**問** 市内の販売店で購入したものに補助

**答** 市長 シルバー人材センターで営業をしているが、議員の指摘のように、市内の電器店等との連携も一つの方法かと考えている。十分協議を進めていきたい。



火災警報器設置の啓発パンフレット

住宅防火対策推進協議会 (財)日本消防設備安全センター



配付されている下野市自主防災組織設置の手引き

## 高山 利夫 議員

1. 地域防災力の確立について
2. 下水道の整備について



**問** 地域防災力の確立について

**答** 自主防災組織の設立を推進する

**問** 自主防災組織の現状と目標について

伺う。

**答** 市長 南河内地区の西坪山自治会において、105世帯による1組織が結成された。ほかに組織化を進めているところが3地区ほどあり、設置について説明を行った。防災活動を行う場合、地域住民の組織的

**問** 消防団後方支援組織の結成について

伺う。

**答** 市長 消防団員は自営業約25%、サラリーマン約75%という状況にあり、昼間の火事

な協力によりその効果が最大限に発揮できるものであり、24年度当初予算で5組織の設立を目標に予算計上した。

の場合、団員がそろわないという状況も起こる。消防団OB等による消防団の後方支援は、地域の総合防災力強化に重要なことと認識しており、組織の結成は必要と考えているが、支援内容によっては災害補償等の問題もあることから、調査研究をしながら進めていく。



## 磯 辺 香 代 議員

1. 「下野市自治会長設置規則」について
2. 中学校「保健体育」の武道必修化について



可能な限り下野市産のものを取り扱っている

### 問

「自治会長設置規則」用語の整理が必要だ

### 答

規則を改正したが、名称整理は行わない

**問** 行政事務の一部を自治会長が分掌するための根拠である「自治会長設置規則」に、「第1条（設置）市の行政事務を分掌させるため、市長が必要と認める自治会に自治会長を置く」、「第2条（委嘱）自治会内の住民代表として推薦のあった者1人を自治会長として委嘱する」とある

### 答

市長 自治会長ハ  
ンドブックの平成

が、自治会長は住民が自主的に結成した任意団体の長であり、市長が「置く」「委嘱する」というのは、住民自治の考えからすると、相当な違和感がある。自治会組織の長の名称と行政事務を委託する人の名称について整理が必要と思う。

24年度版作成にあたり、「下野市自治会長設置規則」に不備が見受けられたので、一部を改正した。主な見直しは、住民自治組織の代表として自治会長となった方を市長が非常勤特別職として委嘱することとした点だ。職務についての変更はない。名称の整理は行わない。



平成23年4月26日に行われた自治会長会議

## 野 田 善 一 議員

1. 「道の駅しもつけ」の現状と課題
2. 人口増に向けてのアクション・プランの作成を



### 問

「道の駅しもつけ」の課題について

### 答

下野ブランドの育成に取り組み

**問** 道の駅しもつけがオープンして1年、この間の来店客数、売上高を見ると、当初の予想をはるかに超えた実績を示しており、喜ばしい限りである。しかしながら、商品構成を見ると、加工品のみならず、農産物でさえ市外産品の占める割合が多い。この現状は、地場のものを扱うことを

### 問

道の駅しもつけがオープンして1年、この間の来店客数、売上高を見ると、当初の予想をはるかに超えた実績を示しており、喜ばしい限りである。しかしながら、商品構成を見ると、加工品のみならず、農産物でさえ市外産品の占める割合が多い。この現状は、地場のものを扱うことを

### 答

本旨とする道の駅の精神にそぐわない。  
市長 道の駅のベースなるものは、地元で採れた新鮮な農産物であり、可能な限り本市産のものを扱っていく。加工品については、市内業者による出荷商品数が全体の約2割にとどまっております。総合計画後期基本計画に重点戦略として掲げた下野ブランド推進事業に積極的に取り組んでいく。市内の魅力ある商品にさらに磨きをかけ、また、新たな商品を発掘・開発し、「下野ブランド」として認証し、市のシテイセールスとともに道の駅等を拠点として、販路拡大に取り組んでいく。



## 村尾光子 議員

1. 市立図書館運営は直営方式を堅持されたい

**問** ①社会情勢が急速に変化している今日、「これからの図書館像」をどう考えているか。②図書館サービスの目標設定と達成度評価はどうか。③直営方式での問題点及び管理運営形態を検討するための評価基準は何か。④公立図書館には「無料の原則」があり、営利目的の

**答**

図書館協議会答申を踏まえて方向性を見出す

団体による運営には無理がある。経費節減のためだけの民間活力導入は、官製ワーキングプアを生み出す懸念がある。直営方式を堅持されたい。

**答** 教育長 ①文化・教養中心の利用だけではなく、日常生活上の課題解決に役立つ図書館を目指す。②市教育計画と図書館振興計画の推

進の中で目標を設定し、外部委員会による教育委員会評価と市民行政評価をしている。③利用者からは開館の日数増と時間延長の要望がある。管理運営形態検討のための評価基準はない。④昨秋、図書館の管理運営のあり方について図書館協議会に諮問した。答申を踏まえて方向性を見出す。



阪神淡路大震災では多くの家屋が倒壊した

## 目黒民雄 議員

1. 地震対策について
2. 水道石綿管について



### 問 本市の地震対策は

**答** 平成27年度の耐震化率を95%に設定

**問** 現在、国土交通省によると全国の住宅の約1050万戸が、現状の耐震基準に達していない。耐震化率は8割に届いていない状況である。本市の地震対策をどのように考えているのか。

**答**

市長 平成7年1月に発生した阪神淡路大震災では、旧基準

の建築物に被害が集中し、亡くなられた方の9割が、倒壊した建築物による圧死である。これらを踏まえ、国においては建築物耐震改修の促進に関する法律が施行された。下野市建築物耐震改修促進計画では、計画期間の平成27年度までに、住宅の耐震化率の向上を図ることが市民の生命財産を守る

上で重要であり、高い目標を挙げ、耐震化率を95%に設定している。耐震化率の向上を図るためには、住宅の耐震化の必要性を正しく理解し、引き続き国・県等の関係機関と連携をとり、パンフレット等による普及啓発運動や市広報、ホームページ等を利用して普及に努める。



石橋図書館の受付カウンター

# 議会基本条例制定を確認 議会基本条例策定小委員会を設置

**第5回委員会**  
1月7日

委員報酬を無報酬に

議会改革調査特別委員会は、議会機能のあり方、組織構成及び報酬等議会改革に関する調査研究を目的とし、議長を除く全議員で構成しています。

当委員会の協議状況について報告します。

## 議会基本条例策定 小委員会が始動

3月21日、第1回目の小委員会が行われ、正副リーダーの選出を行った結果、次の委員会構成となりました。

野田 善一（リーダー）  
磯辺 香代（サブリーダー）  
村尾 光子、松本 賢一、秋山 幸男  
小谷野晴夫、吉田 聡、大島 昌弘

その後、月2回程度小委員会を開催し、議会基本条例制定に向けて協議しております。

議会からの審議会、委員会への委員選出方法と報酬について、条例を改正して監査委員以外の委員報酬を無報酬とすることを確認した。また、国民健康保険運営協議会委員の選

任については、各常任委員会から1名ずつ選出することにした。

**第6回委員会**  
2月14日

議会基本条例を制定へ

平成25年9月までに議会基本条例を制定するため、委員会内に議会基本条例策定小委員会（委員8人）を設置して協議していくことを確認した。

また、市民からの意見徴取、市民への議会活動報告義務については、基本条例の中で位置づけするよう、小委員会で協議していくことを確認した。

なお、委員報酬の件とあわせて、3月定例会で中間報告を行うこととした。

## 皆様のご要望を市議会にお知らせください

市議会に要望はありませんか。市民の皆様のご要望等について、市議会へ要望書を提出して議会で話し合ってもらう制度があります。

紹介議員があるものを**請願**といい、紹介議員がないものを**陳情**といいます。

### 請願・陳情の提出のしかた

- ①必ず書面で作成してください。
- ②提出年月日を記載してください。
- ③請願（陳情）者の住所及び氏名を記載し、押印してください。
- ④請願の場合は、1人以上の紹介議員の氏名を本人直筆で記載し、押印してください。（陳情の場合は不要）
- ⑤題名を記載してください。（紹介議員がいる場合は請願、いない場合は陳情としてください）
- ⑥請願（陳情）の要旨及び理由を明記してください。内容は簡潔に、わかりやすく記載してください。
- ⑦資料等（グラフ・表・地図・図面等）があれば添付してください。

請願・陳情は文書にて定例会開会日の14日前までに直接議会事務局までご提出ください。  
ただし、郵送での提出は不可とします。



委員会における審査のようす

例

平成 年 月 日

下野市議会議長あて

請願(陳情)者 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ ㊟  
紹介議員氏名 \_\_\_\_\_ ㊟

〇〇〇に関する請願（または陳情）

(要旨及び理由) \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

# 議会の動き

## 2月

- 1日 全国市議会議長会基地協議会総会(東京都)
- 3日 総務常任委員会
- 7日 北方領土返還要求全国大会(東京都)
- 8日 議員全員協議会  
経済建設常任委員会
- 9日 全国市議会議長会評議員会(東京都)
- 10日 教育福祉常任委員会
- 14日 議員全員協議会  
議会改革調査特別委員会
- 20日 総務常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 29日～3月22日 第1回定例会

## 3月

- 5日 総務常任委員会
- 14日 小山広域保健衛生組合議会定例会
- 19日 県南公設地方卸売市場事務組合議会定例会
- 21日 総務常任委員会  
議会基本条例策定小委員会
- 22日 議員全員協議会  
議会広報特別委員会
- 27日 石橋地区消防組合議会定例会

## 4月

- 4日 議会基本条例策定小委員会
- 5日 議会広報特別委員会
- 16日 県南6市議会議長会会議
- 17日 議会運営委員会
- 18日 総務常任委員会  
議会基本条例策定小委員会
- 19・20日 栃木県市議会議長会議長会議(那須烏山市)
- 20日 議会広報特別委員会
- 23日 議会改革調査特別委員会
- 25・26日 関東市議会議長会理事会(横浜市)
- 27日 議会広報特別委員会  
議員全員協議会

Dr. シモツケの

# おしえて!? 議会用語

～第7回～



Dr. シモツケ

議会用語というのは難しいのう。  
そんな疑問にワシがわかりやすく解説していくぞい。

Q

下野市議会が議会基本条例の制定に向けて動き出したけど、**議会基本条例**って何？



A

議会基本条例とは、議会の活性化と充実のために議会運営に関する事項、情報公開、住民参加を基本とすることを定めた条例のことを言うんじゃない。



Q

条例にはどんなことが明記されていくのかな？



A

市民と議会の関係・意思決定機関としての市議会の役割を明記することが議会基本条例の核になるんじゃない。これは市町村によって異なることだが、今後の下野市議会の動きに注目じゃのう。



## 市議会本会議の会議録が検索できます

①ホームページで閲覧(市ホームページからも入れます)  
会議録検索システム

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/shimotsuke/shimotsuke.html>

②市内3図書館で冊子を閲覧  
・南河内図書館 ・石橋図書館 ・国分寺図書館

※会議録作成に時間を要するため、若干遅延する場合がございますが、ご了承願います。



# 議会を傍聴してみませんか？

次回、平成24年第2回定例会は、6月6日(水)の開会を予定しております。

傍聴を希望される方は、本会議当日、市役所国分寺庁舎3階議会事務局前に直接お越しください。その際、備え付けの受付票に住所・氏名を記入し、受付箱に投函していただきます。

詳しい日程は決定次第、市ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp> でお知らせいたします。

## 第2回定例会 6月6日(水) 開会予定

議会だよりに関するご意見・感想をお聞かせください

- ①紙面は見やすかったですか。
- 見やすい ・ 普通 ・ 見にくい
- ②印象に残った記事は何ですか。

(複数回答可)

- ・ 議会基本条例を制定へ
- ・ 平成24年度予算が可決
- ・ 常任委員会審査報告
- ・ 市政をたたく 一般質問
- ・ 議会改革調査特別委員会の記事
- ・ おしえて!? 議会用語
- ・ 編集後記

③ご意見・ご感想を自由にお聞かせください。



ご意見・ご感想は、ホームページ、メール、電話、またはFAXにてお願いします。

平成24年5月15日発行 年4回発行

## 編集後記

このメンバーによるしもつけ市議会だよりの編集は、今号で最後になりました。

市議会だよりの読みやすく、わかりやすい紙面を目指して、メンバーの協力のもと無事に計8回の市議会だよりを発行することができました。

議会活動を市民の皆さんに少しでも理解していただき、開かれた議会を担う市議会だよりの重要性を感じ、委員長としての責任を感じました。

このメンバーによるしもつけ市議会だよりの編集は、今号で最後になりました。

じながらの2年間でした。市民の方からもご意見・ご感想をいただくこともでき、次号に少しでも生かせるよう、まず前号の反省から始まり、最後の校正までの委員会は本当に勉強になりました。

これからも、多くの市民の皆さんに親しまれ、関心を持って読んでいただける市議会だよりになるよう祈念し、最後の編集後記とさせていただきます。2年間のご愛読ありがとうございました。(小谷野晴夫)



次号(第25号)は8月15日に発行します

- 議会広報特別委員会
- 委員長 小谷野晴夫
  - 副委員長 吉田 聡
  - 委員 高山 利夫
  - 堀原 良子
  - 高橋 芳市
  - 大島 昌弘